

## 研究課題

術中回収式自己血輸血をしてもなお同種血輸血が必要となる予測因子の検討

## 研究の概要

Cell saver system (CSS) による術中回収式自己血輸血は同種血輸血を回避するために有用であるが、全ての症例で同種血輸血を避けることは不可能である。2013年1月から2016年8月まで、当施設において脊椎手術を受けた患者のうちCSSを用いた537症例を対象とした。年齢、体重、BMI、体表面積、手術時間、出血量、術前術後のヘモグロビンをから、術中回収式自己血輸血を使用してもなお同種血輸血が必要となる出血量を同定するとともに、同種血輸血の必要性の予測因子について検討する。

日本赤十字社医療センター・集中治療科 浅野 哲